

## 【NEWS RELEASE】

2022年1月25日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

「自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD） フォーラム」への参画について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、グループを総称して「SMBC グループ」）は、自然資本や生物多様性に関連した幅広い情報開示の枠組みの策定に関与し、積極的に情報開示を行うために、民間企業や金融機関が参加する国際的な組織である、「自然関連財務情報開示タスクフォース（Taskforce on Nature-related Financial Disclosures: TNFD）（※1）をサポートするステークホルダー組織である TNFD フォーラムに参画しました。

中国で開催予定の生物多様性条約第 15 回締約国会議（COP15）第二部に向け、生物多様性にかかる議論が進む中、民間レベルでも企業の事業活動と自然環境との関わりについて情報開示を求める動きが進んでいます。かかる状況下、SMBC グループは TNFD の議論をサポートする組織である TNFD フォーラムに参画することにより、自然関連財務情報開示の枠組みの策定に関与し、積極的に情報開示を行っていくことで、TNFD が目指す「ネイチャーポジティブ」（自然へ良い影響）な資金の流れへの転換を目指してまいります。

当社は、「環境」「コミュニティ」「次世代」を、グループとして取り組むべき重点課題（マテリアリティ）と位置付けています。なかでも「環境」は、地域や世代を超えた人類共通の財産であり、地球環境の維持は持続可能な社会を実現する上での大前提と捉えています。

SMBC グループは、気候変動問題だけではなく、自然資本や生物多様性の保全に積極的に取り組むことで、社会全体のサステナビリティの実現やレジリエンスの向上に積極的に貢献してまいります。

（※1）自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）とは、2021年6月に、企業が自然資本等に関連するリスク管理と開示枠組みを構築する為に設立された国際的な組織。2019年の世界経済フォーラム（ダボス会議）で着想され、企業が自然に関連した情報開示を行うことにより、資金の流れをネイチャーポジティブ（自然へ良い影響）へ転換させることを目指している。

以 上